

平成25年度施策評価表

作成年月 平成26年8月

分野名(章)	安全・安心で快適に暮らせるまちづくり	分野(章)番号	4
政策名(項)	道路環境の整備	政策(項)番号	I
施策名(目)	生活関連道路の整備	施策(目)番号	③
担当課	建設課	担当課長	門間 傳

1. 施策の基本方針

施策目的	・町民が安全・安心で快適に暮らすため、公共施設や教育施設及び医療施設等への移動時間の短縮と、安全性の確保を提供する。
------	--

2. 施策の現状分析

	施策に対するニーズ等(具体的事項)	施策を取り巻く環境(社会環境, 国・県の動向等)
施策の概況	<ul style="list-style-type: none"> ・道路の整備は順次進めているが、まだ狭隘な幅員の道路や急カーブが多い道路が多く存在し、その解消を求められている。 ・未舗装の道路があるため、舗装の要望が多い。 ・各地区からは、未改良区間の道路整備について毎年数多く要望・陳情されている。 ・地域間の交流ルートや観光ルートを確立するための、道路整備も求められている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・道路の整備を行うには多額の事業費が必要となるため、そのほとんどを各種の補助事業により実施しているが、近年国の財政悪化により、公共事業費が削減されており、今後の補助事業の動向が不透明である。 ・県においても財源不足により、補助金をカットする傾向にある。 ・これらの財源がなければ、計画的な道路整備を推進していくのは困難である。

施策指標(成果指標)	指標の内容	達成度(上段:目標 下段:実績)							
		H23	H24	H25	H26	H27	H27目標	備考(他団体状況含む)	
主要	通行時間短縮率	目標			8.43%	8.68%	8.93%	8.93%	
		実績	6.2%	6.45%	6.65%				
		達成率			79%				
参考①	道路改良率	目標			68.65%	68.91%	69.17%	69.17%	県:91.0% 角田市:71.6%
		実績	66.86%	67.11%	67.37%				
		達成率			98%				
参考②	舗装率	目標			89.35%	89.67%	89.99%	89.99%	県:98.8% 角田市:80.9%
		実績	88.43%	88.4%	88.24%				
		達成率			99%				
参考③		目標							
		実績							
		達成率							
参考④		目標							
		実績							
		達成率							

3. コストの推移(行政資源投入の状況)

		平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成26年度	平成27年度
		(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(当初予算)	(見込み)
事業費		555,224千円	706,634千円	556,565千円	556,574千円	555,383千円	340,600千円
財源内訳	国庫支出金	295,869千円	360,728千円	303,281千円	303,281千円	303,430千円	194,350千円
	県支出金	632千円	262千円	315千円	315千円	千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円
	(うち過疎債)	千円	千円	千円	千円	千円	千円
	その他特定財源	千円	千円	千円	千円	千円	千円
	一般財源	258,722千円	345,644千円	252,969千円	252,978千円	251,953千円	146,250千円
従事者数	正職員	4.35人/年	4.35人/年	4.64人/年	4.64人/年	4.78人/年	4.78人/年
	臨時職員	0.00人/年	0.00人/年	0.00人/年	0.00人/年	0.00人/年	0.00人/年
人件費	正職員	29,289千円	29,662千円	31,501千円	31,501千円	32,451千円	32,451千円
	臨時職員	千円	千円	千円	千円	千円	千円
退職給与引当金		3,771千円	4,068千円	4,217千円	4,217千円	4,346千円	4,346千円
トータルコスト		588,284千円	740,364千円	592,283千円	592,292千円	592,180千円	377,397千円

4. 施策の評価

有効性の評価	施策成果の達成度	b	a達成度は非常に高い b達成度はやや高い c達成度はやや低い d達成度は低い
	[説明]		・公共施設等への通行時間はすこしづつ短縮されているが、満足できる水準ではない。 ・昨年度より道路改良率は+0.26ポイント増加し、舗装率においては-0.16ポイント減少した。県全体と比べるとまだまだ低い水準である。
	施策成果向上の可能性	b	a可能性は十分ある bある程度可能である c可能性はあまりない d可能性はない
	[説明]		・国の施策は補助金を削減する方向であり、そのため財源確保が困難となっているが、道路構造物の小型化や新技術の採用による施工方法の改善をし、事業費の抑制を図り整備進捗を高める。
	貢献度	a	a貢献度は非常に高い b貢献度はやや高い c貢献度はやや低い d貢献度は低い
[説明]		・町民が安全で快適に暮らすためには欠かすことのできないものである道路整備は社会資本の根本をなすものであり、貢献度は非常に高い。	

5. 施策の課題

課題	<ul style="list-style-type: none"> ・地区から多くの要望・陳情があるが、安全性・広域性等を考慮した路線の選定をし計画的な整備が必要である。 ・工事の工法や工事の発注方法などにより事業費の抑制が必要である。 ・国の補助金が削減され、事業費の確保が難しい。
----	--

6. 施策の方向性

総合評価	この施策の事業費を「維持」して取り組んでいく	次年度以降方針	<ul style="list-style-type: none"> ・補助金が削減されれば、現状の事業費の確保は難しいが主要道路整備計画により計画的な整備を図る。 ・工法や入札方法などを検討し、事業費の抑制を図る。
------	------------------------	---------	--

【総合評価】 拡大、維持、縮小

なお、「総合評価」については、H26の事業費とH27の事業費を比較したのみの評価となりますので、「次年度以降方針」の内容とは異なる場合があります。
必ずしもこの事業費の比較の評価が事業内容に繋がるとは限りません。